

2016-7-15
No.984 250円

思想運動

活動家集団 思想運動
発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区
本郷3の38の10さかえビル2階 ☎03-3818-
6671 FAX03-3818-3199 (郵便振替)00190-0-758235
小川町企画・関西連絡先 ☎080-4700-6461
HP <http://www.shiso-undo.jp/>
購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)



サード(THAAD)韓国配備反対全国対策会議(準)は7月8日、韓国国防前前で国内配備決定を糾弾する会見を行なった。(写真は「現場言論・民+」HPより、関連記事3面)

第24回参院選の結果とわれわれの闘いの進路

大衆闘争の展開が政治の流れを決める

改憲勢力三分の二のさびしい現実

七月十日に投票された第二十四回参院選は、周知のとおり、自民・公明・おおさか維新の会・日本の心を大切にする党と無所属議員の一部を加えた「改憲勢力」が、参院で憲法改正の発議ができる三分の二(定数二四二の二六二議席)を超え、大勝した。自民党は今回五六議席を獲得。その後、民主党政権時代に初代復興相をつとめ無所属で活動してきた平野達男参院議員(公明党選挙区)が自民党に入党届を提出、計五七議席となり、自民党は非改選議員を加え合計一二三議席、二七年ぶりに参院で単独過半数を占めた。またこれにより無所属議員を含まない「改憲四党」で三分の二を確保した。比例代表では前回から二六五万票以上伸び一五年ぶりに二〇〇〇万票台に乗せている。

成果をどこにみるか

選挙制度の問題、安倍政権の争い隠し、政権持ちをいっそう強めるマスコミ、投票率の低さ等々、さまざまに理由があげられようが、選挙結果でみる限り、日本人民とブルジョワ支配階級の力関係は、はつきりとブルジョワ側の優位にあることが示された。公明党は選挙区に過半数最多の七人を擁立し、全員を当選させるなど改選九議席を大きく上回る一四議席を獲得、非改選とあわせて合計一五議席。おおさか維新の会も改選二議席を大きく上回る七議席を獲得、合計一二とした。民進党は前回(二〇一三年当時)は民主(二七議席)を上回る三三議席を獲得し合計四九議席としたが、公明前勢力六〇からは大きく後退した。共産党は前回に続いて東京選挙区で議席を獲得、比例代表が、力をあわせ、一定の議席

不可欠な階級的視点

投票率は前回比二ポイント増の五四・七〇%、一八歳と一九歳の投票率は選挙区は四五・四五%と発表された。また、一八・一九歳の半数が比例区で自公に投票したと報じられている。労働組合の組織率が年々下がり、その政治行動・選挙運動への締め付けもあり、選挙への労働者の関心は低い。非正規労働者が四割にも達しようとする中、日々の生活に追われ、選挙どころではない日常が厳然としてある。高齢者の貧困率も年々拡大している。安倍政権とマスコミによって、国際社会(米日を先頭とする帝国主義世界のこと)の常識や法を無視する、悪の権化として中国や朝鮮が専横、刷り込まれる。日本国のあること(やったこと)は「全く問題ない」(菅官房長官の決まり文句)と問題にすらしない。そして中国・朝鮮・韓国・ロシアなどに対抗するには、日本資本主義の発展(でさえもGDP六〇兆円達成)が必要とされ、「景気回復、この道しかない。」に引きずり込む。さらに時代錯誤の、軍備拡大によって国を守るの大言。そして労働組合がある大企業で働く労働者や公務員の賃金と中小零細・非正規労働者の賃金格差を労働者間の対立に誘導する分断政策。

高江へリパッド工事再開糾弾!

このいわはブルジョワ支配階級による徹底した洗脳状況のなかで、労働者人民の多くが「多様性」「自立性」の大切さを吹きこまれて、個々にははらに問題に对应させられていく。現状に不満、将来に不安があっても、どうすればいいのかが、なかなかつかめない。だから、それ争点化されなノ連・東欧の社会主義世界体制の倒壊から二五年が過ぎ、労働者が社会の主人公、社会主義にこそ未来があるといった考えが歴史のクズ箱に投げ込まれて久しい。しかし、資本主義の枠の中だけで問題をみてゆかきり、脱出口は見出せない。求められているのは国際的視点をもった歴史認識と階級的視点、そしてそれに基づき労働者・労働組合を先頭に大衆実力闘争だ。活動家集団 思想運動▽常任運営委員会